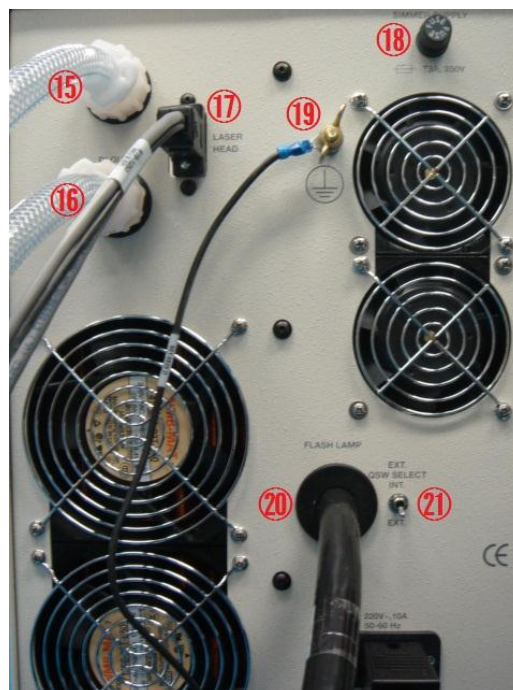
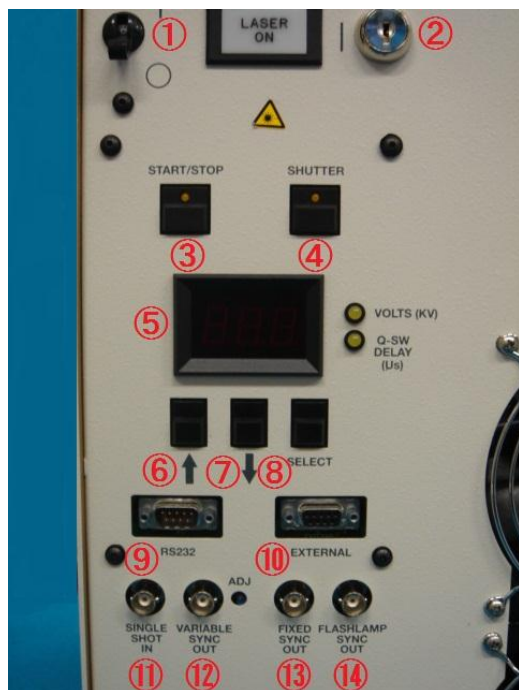


Surelite 取扱参考資料

・各部名称



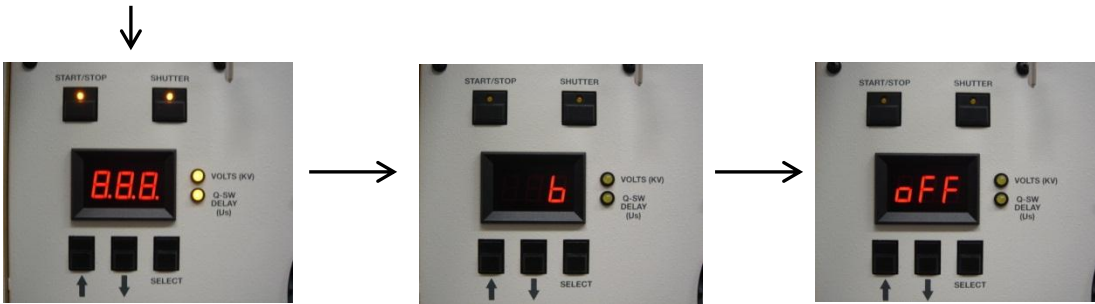
- ① メインスイッチ
- ② キースイッチ
- ③ フラッシュランプ
スタート/ストップボタン
- ④ シャッターボタン
- ⑤ LED ディスプレイ
- ⑥ アップボタン
- ⑦ ダウンボタン
- ⑧ セレクトボタン
- ⑨ RS-232C 用コネクタ
- ⑩ 外部トリガ用コネクタ
- ⑪ シングルショット用 BNC コネクタ
- ⑫ VARIABLE SYNC OUT
(レーザー発振に同期)
(タイミング調整可)
- ⑬ FIXED SYNC OUT
(レーザー発振に同期)
(タイミング固定)
- ⑭ FLASH LAMP SYNC OUT
(フラッシュに同期)

- ⑮ 一次冷却水 戻り
- ⑯ 一次冷却水 往き
- ⑰ D-sub9 ピンケーブル
- ⑱ Simmer 用ヒューズ
- ⑲ GND
- ⑳ ヘッドプラグケーブル
- ㉑ 外部トリガ用 Q-スイッチ
内部/外部切り替えスイッチ

・各表示説明



メインスイッチ ON
↓
全表示
↓
ROM バージョン表示
↓
OFF



キースイッチ ON
↓
三桁ずつショットカウントを表示します。
(下記の場合、「000,140,951」ショット)



一瞬「FLo」(Flow)が表示され、その後繰り返し周波数(内部トリガ使用時)か、「Eon」(外部トリガ使用時)が表示されます。



・メニュー表示

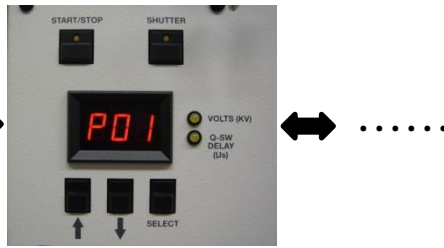
(↓矢印: **SELECT** ボタンにより変更、⇄矢印: アップ/ダウンボタンにより変更)



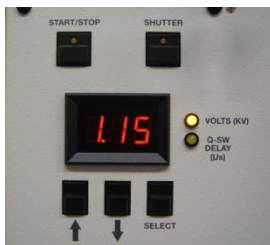
フラッシュランプの繰り返し周波数を表示します。
※周波数は変えられますが、**YAG** ロッドの熱レンズ効果が変わってしまいますので、使用周波数でご使用下さい。



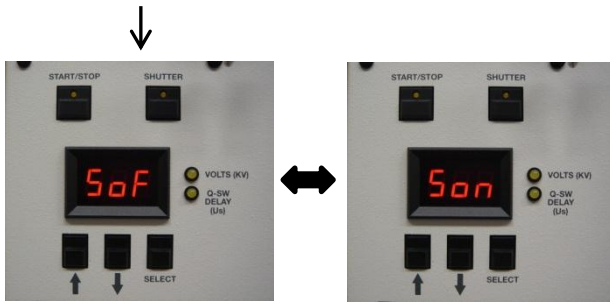
フラッシュランプに対する **Q**-スイッチのデレイの値を表示します。必要に応じて値を変えて頂けます。



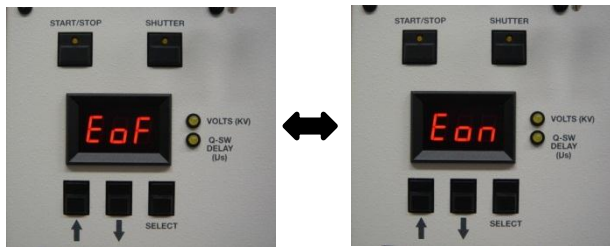
フラッシュ回数に対する **Q**-スイッチの駆動回数を表示します。
「P00」・・・駆動しない(発振しない)
「P01」・・・フラッシュ 1 回に対して **Q**-スイッチ 1 回駆動
 ((フラッシュの繰り返し周波数/1) Hz で発振)
「PXX」・・・フラッシュ XX 回に対して **Q**-スイッチ 1 回駆動
 ((フラッシュの繰り返し周波数/XX) Hz で発振)



フラッシュランプに印加する電圧値を表示します。
※電圧値は変えられますが、**YAG** ロッドの熱レンズ効果が変わってしまいますので、使用電圧に設定して下さい。



RS232C(PC)コントロールの有効/無効を選択致します。
 「Sof」・・・無効 「Son」・・・有効(PC→Surelite 一方向通信)
 ※「Son」にすると他のメニューが表示されなくなります。
 ※コマンドはマニュアルをご参照下さい。



外部トリガでの動作の有効/無効を選択致します。
 「Eof」・・・内部トリガ 「Eon」・・・有効
 ※「Eon」にすると、表示可能なメニューが電圧値と、RS232Cコントロールの有効/無効のみになります。
 ※Mode1(ジッター ±10ns)
 (フラッシュランプトリガ 外部/Q-スイッチトリガ 内部)
 Mode2(ジッター ±ns)
 (フラッシュランプトリガ 外部/Q-スイッチトリガ 外部)
 ※Mode1/Mode2の切り替えは電源裏側の⑳のスイッチで行って下さい。



※繰り返し

立ち上げ・立ち下げ手順(内部トリガの場合)

・立ち上げ手順



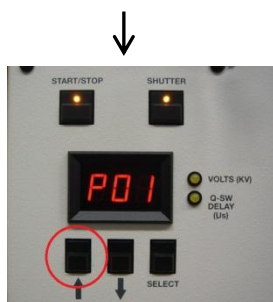
0. メインスイッチを **ON** にします。
(結晶等温調のため、メインスイッチを **ON** のままの場合は省略して下さい。)

1. キースイッチを **ON** にします。ショットカウント表示後、**Flo** (一瞬) → 繰り返し周波数が表示されます。

2. **START/STOP** ボタンを押します。フラッシュランプのフラッシュが始まります。30分ウォームアップして下さい。
※メインスイッチを **ON** にされている場合、内部シャッターの開閉は可能ですが、ウォームアップは守って下さい。

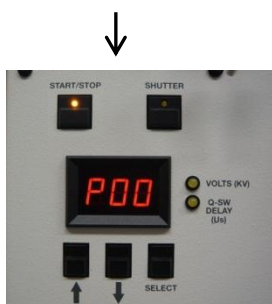
3. Q-スイッチの駆動回数が「**P00**」になっていることを確認して下さい。

4. **SHUTTER** ボタンを押して下さい。内部シャッターが開きます。
※5. と順番を入れ替えて頂いても大丈夫です。



5. Q-スイッチの駆動回数を「↑」ボタンを押して「P00」から「P01」にして頂くと発振致します。
※4. と順番を入れ替えて頂いても大丈夫です。

※シングルショットケーブルの設定(3秒間長押しで、連続発振のための)



1. シングルショットケーブルをフロントパネルの「SINGLE SHOT」に繋いで下さい。

2. 通常通り立ち上げて下さい(フラッシュ前まで、あるいはシャッター開閉前まで)。
3. Q-スイッチの駆動回数を「↑」ボタンを押して「P00」から「P01」に変更して下さい。
4. シングルショットケーブルのボタンを押して頂き、「P01」から「P00」に変わったことを確認して下さい。
※これでシングルショットケーブル側で1回押すと1回発振(これは設定しなくても可能です)、3秒間長押ししますと連続発振となります(止める時はもう一度ボタンを押して下さい)。

立ち下げ手順(内部トリガの場合)

1. 「P01」を「P00」にして下さい。
2. 「SHUTTER」ボタンを押して、内部シャッターを閉じて下さい。
3. 「START/STOP」ボタンを押して、フラッシュを止めて下さい。
4. キースイッチを OFF にして下さい。
5. 必要に応じて、メインスイッチを OFF にして下さい。

立ち上げ・立ち下げ手順(外部トリガの場合)

・立ち上げ手順



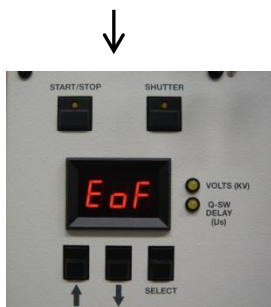
※「EXTERNAL」に信号発振器からのケーブルを繋いで下さい。また発振器の電源を ON にして下さい。



0. メインスイッチを ON にします。
(結晶等温調のため、メインスイッチを ON のままの場合は省略して下さい。)



1. キースイッチを ON にします。ショットカウント表示後、「Flo」(一瞬)→繰り返し周波数が表示されます(前回外部トリガで終了している場合は「Eon」が表示されます)。



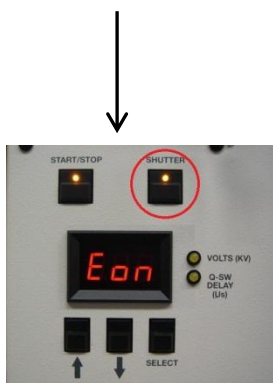
2. SELECT ボタンで「Eof」を選択して頂き、↑ 矢印ボタンで「Eon」に切り替えて下さい。





3. 信号発振器から信号を発信した後、「START/STOP」ボタンを押して頂くと、フラッシュランプのフラッシュが始まります。30分ウォームアップして下さい。

※メインスイッチを ON にされている場合、内部シャッターの開閉は可能ですが、ウォームアップは守って下さい。



4. 「SHUTTER」ボタンを押して下さい。内部シャッターが開き発振致します。

※ROM のバージョンにより、「P00」では発振しない場合がございます。その場合は一度「Eof」に切り替えて頂き、「P00」から「P01」に変更した後、再度「Eon」にして下さい。

立ち下げ手順(内部トリガの場合)

1. 「SHUTTER」ボタンを押して、内部シャッターを閉じて下さい。
2. 「START/STOP」ボタンを押して、フラッシュを止めて下さい。
3. 信号発振器の信号を止めて下さい。
3. キースイッチを OFF にして下さい。
4. 必要に応じて、メインスイッチを OFF にして下さい(メインスイッチを OFF にする場合は信号発振器の電源も OFF にして下さい)。